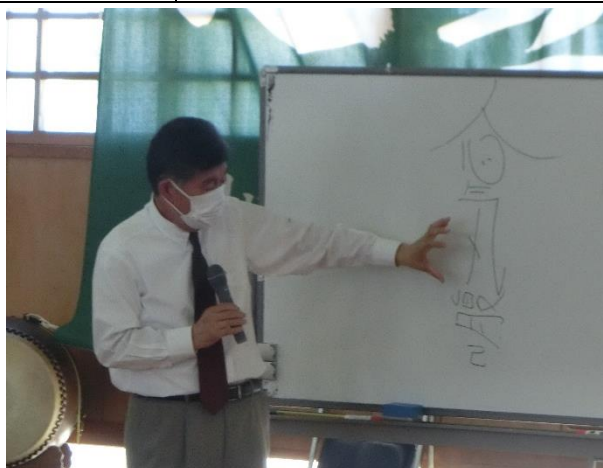




山形市立第一中学校  
第2学年通信 第6号  
令和4年5月25日(水)  
文責：山口弘治

## マナーアップ講習会

5月18日(水)、職場体験学習の一環として、社会に出たときのマナーを学ぶための講習会が行われました。講師の先生は、山形一中の大先輩であり、現在は株式会社おーばん顧問の鈴木澄夫さんです。「マナーアップ学修会 10の決意」の演題で具体的で分かりやすく話をしていただきました。連峰学年の皆さんは、真剣に集中して聞き、たくさんの学びをしました。



10の決意のうち、印象に残った決意は、あなたはゴミを「捨てる人」・「捨てる人」です。大谷翔平選手がゴミを捨てるようにしていると聞いたことがあります。同じ手を使ってやることですが、「捨てる人」・「捨てる人」がいると思います。捨てることができる人になりたいと思いました。  
さん

「100-1=0」で、自分はいいかもしれないけれど、周りの人のことも考えて、毎日生活していくことが大切だと思いました。このことは部活でも言えると思います。例えば、自分は団体競技をしているので、自分がいくらキツくても、周りも頑張っているし、自分だけここで楽をして試合に負けたら、100-1=0になってしまうかもしれないからです。社会に出てからじゃなくて、中学生のときから少しずつ頑張っていきたいと思いました。  
さん

「忙しい」は、「心」が「亡」くなるという意味だと教わり、確かにそうだなと思いました。自分で自分に「忙しい」は、言い訳にしかならず、謙虚さが無いなと思いました。一番自分に響いた文は、「人」を大きく、「心」を丸く、「気」を長く書き、「腹」を立てずに横におく、「己」は小さくかく。いつになっても、「謙虚さ」が大切だと思いました。これからも、自分だけでなく、周りの人や自然、家族のことも思いやれる様な人になりたいと思いました。  
さん

社会で必要とされている働く力と学校や生活で使う力には共通点があるということが分かった。コミュニケーション能力はもちろんのこと、あいさつや笑顔など学校でも使うものが多いし、これからはずっと使う力なので大切にしていきたい。見られてないからといっても、自分勝手な行動をせずに、他責にならず自分の考えをしっかりと持ちたい。そして感謝を忘れず何かしてもらったら「ありがとう」を忘れずに人の心が分かる心になりたい。  
さん

1番印象に残っていることは、「人は1番上に大きく、心は丸く、気は長く、腹は立てずに、己を小さくする。」ということです。僕は、この話を聞いてすごく大事なことだと思いました。僕は、まだまだ心が丸くなく、気が長くもなく、腹が立つこともあり、己を大きくしてしまうことがあるため、これからは、このことを心に留めて、完璧に近づけられるよう、努力したいと思いました。  
さん

